

第 6 回 (平成 21 年度) 原子力規格委員会 功労賞受賞者の決定について

(社) 日本電気協会原子力規格委員会では、委員会活動に貢献顕著な委員等を表彰する功労賞が創設されております。

このたび、3 月 15 日開催の第 36 回原子力規格委員会において、第 6 回 (平成 21 年度) 功労賞の受賞者が下記のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

(50 音順 敬称略)

氏名	所属	表彰理由
石沢 順一	一般社団法人 日本原子力技術協会 (東京電力㈱から出向)	本委員会構造分科会供用期間中検査検討会において、「軽水型原子力発電所用機器の供用期間中検査における超音波探傷試験規程 (JEAC4207)」改定にあたり、主査の立場で規格策定の方向付けを行い、原案作成作業の牽引役を果たすとともに、分科会幹事として、規格原案の説明、意見対応案・公衆審査対応案の説明など、規格策定活動に深く携わり、多大な貢献を行った。
兼近 稔	鹿島建設 (株)	本委員会耐震設計分科会において、「鋼板コンクリート構造耐震設計技術指針 (JEAG4618-2005)」や、「同技術規程 (JEAC4618-2009)」の制定及びその他の規格の制定・改定に当たって、耐震設計の中での分野を問わない高度な専門家として、技術的根拠の蓄積・実務化や、規格内容の審査はもとより、規格全体の整合を図るなど、多大な貢献を行った。
鈴木 智	日立 GE ニュークリア・エナジー (株)	本委員会耐震設計分科会において、「原子力発電所耐震設計技術規程 (JEAC4601-2008)」の制定、「原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-2008)」の改定にあたり、特に機器・配管系の耐震設計に関わる内容について高度な専門家として、利用者の立場を念頭に、理解できるような具体的な内容とすることに努め、その分野の技術的根拠の蓄積・実務化に、多大な貢献を行った。
武田 正	日本原燃 (株) (原子燃料工業㈱から出向)	本委員会原子燃料分科会原子燃料品質管理検討会において、「発電用原子燃料品質管理指針 (JEAG4204-2009)」の改定にあたり、改定作業の幹事役として、中心的な役割を果たされ、特に、技術基準の性能規定化を念頭に置いた民間規格に反映すべき要求事項の整理等において、燃料製造メーカーでの豊富な知識と経験を活かし、多大な貢献を行った。
三嶋 隆樹	東京電力 (株)	本委員会安全設計分科会計測制御検討会において、「安全保護系へのデジタル計算機の適用に関する規程 (JEAC4620-2008)」及び「デジタル安全保護系の検証及び妥当性に関する指針 (JEAG4609-2008)」他の制定・改定、並びに運転保守分科会防火管理検討会において、「原子力発電所の火災防護管理指針 (JEAG4103-2009)」の制定にあたり、何れも主査として多大な貢献を行った。

(問い合わせ先)

原子力規格委員会 事務局 (日本電気協会 技術部内)

電話 : (03) 3216-0553 / FAX : (03) 3214-6005

E-mail : staf-nuc@denki.or.jp

所在地 : 〒100-0006

東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル北館 4 階